

2026/10/14

報道関係者各位

アンリツ株式会社

アンリツ、Wi-Fi 8 および Bluetooth® Low Energy 対応機器の評価を 1 台で実現



アンリツ株式会社（社長 濱田 宏一）は、ワイヤレスコネクティビティテストセット MT8862A の新たな機能として、次世代無線 LAN 規格 Wi-Fi 8（IEEE 802.11bn）および Bluetooth® Low Energy の RF 特性評価に対応したオプションを開発し、販売を開始しました。両無線方式の RF 特性評価が 1 台で可能となるため、開発効率の向上と評価環境の最適化に貢献します。

今後もアンリツは、無線技術の進化に対応した測定ソリューションの提供を通して、信頼性の高い無線通信に貢献するとともに、次世代ワイヤレスネットワークの実現を支援していきます。

開発の背景

Wi-Fi 8 は 2028 年の標準化完了に向けて規格策定が進められており、低遅延かつ高信頼な無線通信の実現を目指しています。ロボットなど実世界で動作するフィジカル AI をはじめ、通信の信頼性が重視される AI 搭載機器への採用が期待されています。また、IoT 機器、ウェアラブル機器、スマートフォンなどでは Wi-Fi と Bluetooth 技術の両方を搭載することが一般的になっており、両無線方式を効率的に評価できる測定環境へのニーズが高まっています。

製品概要

MT8862A は、Wi-Fi および Bluetooth Low Energy 対応機器の設計から品質評価まで活用できる RF 送受信測定プラットフォームです。今回開発した評価機能オプションはソフトウェアで提供されます。そのため、MT8862A をご利用中のお客さまは、新たな測定システムを導入することなく、Wi-Fi 8 および

Bluetooth Low Energy 対応機器の評価環境を拡張できます。

- **最新の Wi-Fi 8 から従来規格まで幅広くサポート**

Wi-Fi 8 や Wi-Fi 7 で採用される 320 MHz 帯域幅や 4096QAM といった最新の要件に加え、Wi-Fi 6E の 3 つの周波数帯、IEEE 802.11a/b/g/n/ac などの従来規格にも 1 台で対応します。

- **実際の通信状態で Wi-Fi 評価**

MT8862A は、評価対象機器との通信を確立した状態で測定する「ネットワークモード」に対応しています。有線接続（Conducted）試験に加え、アンテナを介して測定する無線接続（OTA：Over the Air）試験も行えます。また、データレートごとに送信電力、変調精度、受信感度などを測定できます。これにより、実動作時の通信性能の検証や、問題発生時の原因究明を支援します。

- **Bluetooth Low Energy 対応機器の開発を支援**

Bluetooth 標準化団体である Bluetooth SIG が定める RF PHY 試験仕様に基づき、Bluetooth Low Energy 対応機器の RF 特性評価ができます。これにより、通信性能の検証に加え、問題が発生した際の原因究明にも活用できます。

MT8862A の詳細：

<https://www.anritsu.com/ja-jp/test-measurement/solutions/basic-instruments/mmwave-solutions>

※Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、アンリツはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

本測定ソリューションは、2026 年 11 月 25 日から 27 日までパシフィコ横浜で開催される「MWE 2026」に出展する予定です。

アンリツの製品・ソリューション・その他の情報は、

ソリューション紹介ページ <https://www.anritsu.com/ja-jp/test-measurement/solutions>

および Facebook <https://www.facebook.com/AnritsuTandM> でご覧いただけます。

[報道関係のお問い合わせ先]

アンリツ株式会社

コーポレートブランディング部 鈴木

TEL：046-296-6671

E-mail：PR@anritsu.com